

令和3年度 沖縄県振興審議会 第5回総合部会 議事要旨

日時：令和3年10月15日(金) 11:00~12:27

場所：沖縄県市町村自治会館第5・第6会議室

議事1 調査審議（計画の展望値）

- 新たな振興計画における展望値の検討状況について報告。展望値の離島人口、県民所得の取扱について質疑応答があった。
- 域内自給率が展望値として適切かどうか審議を行った。
移輸出額や貿易収支等、分かりやすい数値はあるものの、域内自給率は一定程度の指標として価値があり、今後重要な指標となる可能性がある。
- 展望値の温室効果ガス排出量は様々な外的要因から達成するのは難しいかもしれないが、県内外へ政策としての方向性を示し、たどり着こうとする過程をアピールすることができ効果的である。

議事2 第1回～第4回総合部会意見への対応方針について

- リーディング産業として文化が置かれているが、ほとんどの団体が企業から何らかの支援を受けないといけない状況であり、経済的発展を牽引する先導的な産業であるのか少し疑問を感じる。文化やスポーツは別枠で記載してはどうか。
- リーディング産業において、再生可能エネルギー（グリーン）が入っているが、環境についても加えてはどうか。
- リーディング産業として海洋と記載されているが、何を指すのかイメージしにくいいため、ひと言加えてはどうか。
- 建設関連産業、医療、介護は多くの雇用を生んでいるが、こうした産業がリーディング産業の中に入らないのは何故か。

- 観光産業において、宿泊業でいうと県内総生産に対する割合が4%ほどしかなく、割合としては製造業と変わらないため、リーディング産業と呼べるところまでは至っていないのではないか。

以上